土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2-西ノ谷川補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 02.4298″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 8月22日～ 令和4年 8月24日	東経	132° 33′ 14.3162″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 188.90m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	11.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNS12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	187.90	1.00		粘土質砂		暗褐			上部は木根を多く含む 砂は細～中砂を主体とする 細粒土分を30～40%含有する	
2				礫混じり砂		暗褐灰	rd3		径5cm以下の礫を20～30%混入する 砂は中～粗砂を主体とする 径10cm程度の玉石が点在する	
3	185.40	3.50								
4	184.90	4.00		玉石混じり砂		淡茶灰			径10～30cmの玉石が連続的に混在する マトリックスは中～粗砂の砂	
	184.30	4.60		粘土混じり砂		暗褐灰	rd4		砂は中～粗砂を主体とする 径2cm以下の礫を少量混入する	
5				花崗岩		暗褐灰			DL級岩盤 風化作用が著しく進行し土砂状を呈する 造岩鉱物は風化変質、変色している 長石類の白濁化が著しい 下部に従い密実となる 部分的にL=10cmの角石の風化部を含む	
6										
7										
8										
9	179.90	9.00								
	179.40	9.50		花崗岩		暗褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する	
10	178.90	10.00		花崗岩		暗褐灰			CL級岩盤　径5cm以下の礫状～岩片状コアで採取する 部分的に土砂化している	
11	177.90	11.00		花崗岩		赤褐灰			CM級岩盤 L=5～20cmの短柱状～柱状コアで採取 亀裂面は暗褐色に変色する 亀裂に沿って細礫～礫状となる	
12										
13										
14										
15										
16										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
16	1.15	2	6	8	16/300		
	1.45						
19	2.15	8	8	3	19/300		
	2.45						
27	3.20	4	11	12	27/300		
	3.50						
33	4.15	16	9	8	33/300		
	4.45						
26	5.15	7	9	10	26/300		
	5.45						
26	6.15	7	9	10	26/300		
	6.45						
30	7.15	7	11	12	30/300		
	7.45						
46	8.15	11	15	20	46/300		
	8.45						
50以上	9.05	24	26		50/200	200	
	9.25						

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/22
				8/23
				8/24